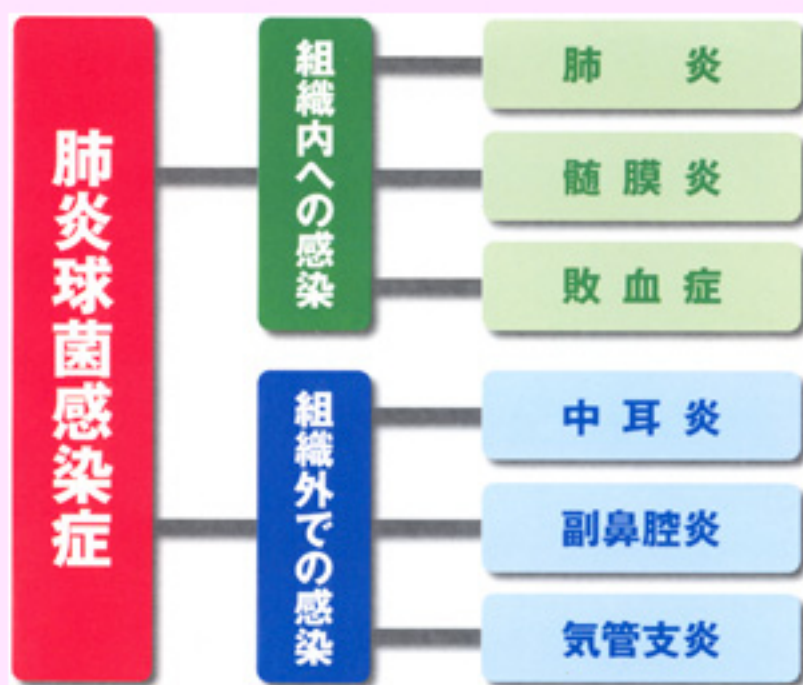


※小児の肺炎球菌ワクチン「プレベナー」については[こちら](#)。」

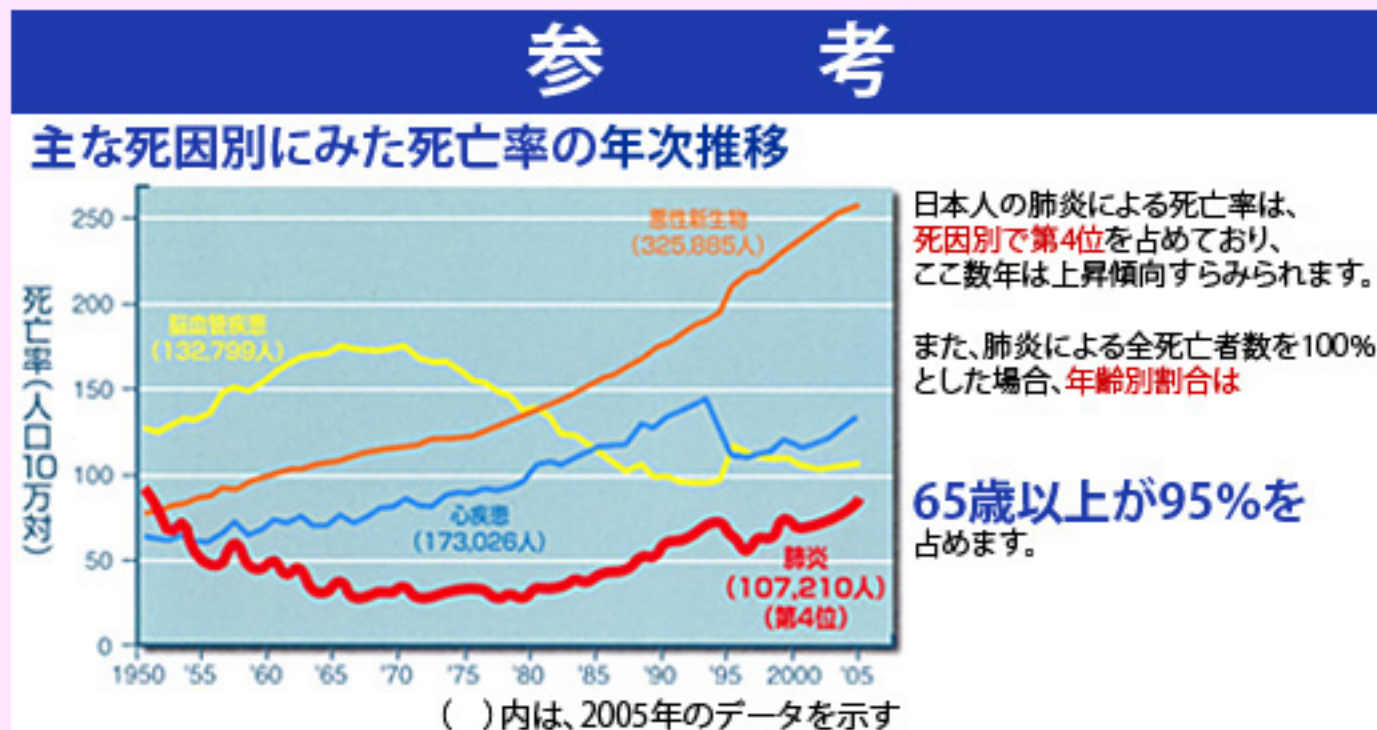
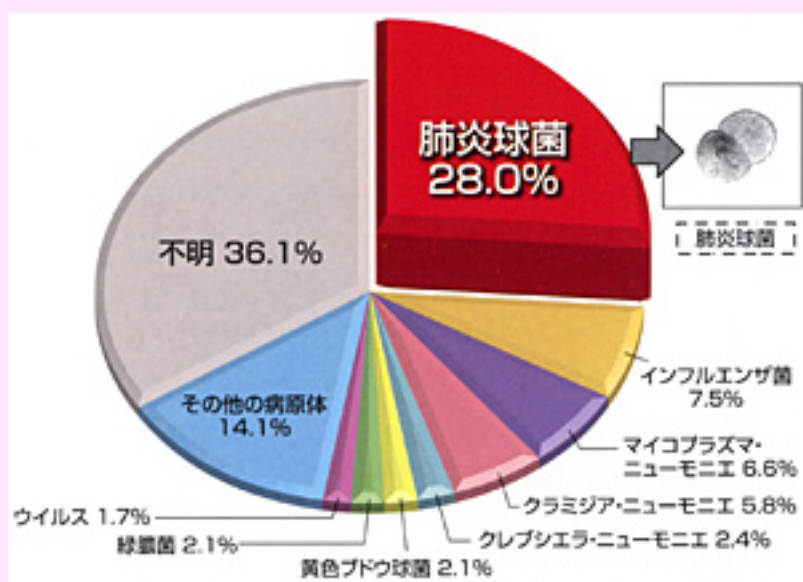
▶肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌という菌によって起こる感染症です。  
健康な人でも鼻やのどから見つかることがあり、抗生物質が効きにくい肺炎球菌も増えています。  
右図のような病気をおこします。



▶日常生活における肺炎の主な病原体

肺炎はウイルスや各種細菌が主な原因となります。中でも日常生活で起こる肺炎(市中肺炎)の原因は、肺炎球菌が1位です。



**Attention** ワクチンを接種しておく、肺炎にかかっても軽い症状で済む効果が期待されます。

▶肺炎球菌ワクチンとは

肺炎球菌が原因となる肺炎などの感染症を予防するためのワクチンです。

**特 徴**

- ・肺炎球菌による感染症の予防に効果が期待されます。
- ・1回の接種で5年以上免疫が持続するという報告があります。
- ・接種後の副反応(副作用)として注射部位の腫れ・痛み・軽い熱が見られることがあります。

出典:福見秀雄 他、感染症学雑誌 1984;58(1):39-53より引用

次のような方に接種をお奨めします

- 高齢者(65歳以上の方)
- 腎不全や肝機能障害のある方
- 心臓や呼吸器に慢性疾患のある方
- 糖尿病の方
- 脾臓摘出などで脾機能不全のある方

など

**ご 注 意**

- ・全ての肺炎を予防するものではありません。
- ・接種後、免疫(抗体)ができるまで平均3週間程度かかります。
- ・再接種(2回目の接種)はできません(注射部の痛みなどの副反応が強くなる可能性があるため)。

**副 反 応**

- ・注射部位の腫れ・痛み・軽い熱などがみられることがありますが、通常、2~3日でおさまります。

**接種を受けることが不適当な方**

- ・過去に肺炎球菌ワクチンを接種された方
  - ・2歳未満の方
  - ・免疫を抑える治療をしている方
  - ・明らかな発熱のある方
  - ・重い、急性の病気にかかっている方
- など

※肺炎球菌ワクチンは、日本の医療制度上一生のうち1回しか接種できません。肺炎球菌ワクチンを接種したら、接種済みシールを保険証に貼るなどして忘れないようにしましょう！

▶肺炎球菌ワクチンとは

**肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンを一緒に接種しましょう。**

- ・インフルエンザにかかることが、肺炎を引き起こす要因となります。
- ・両方のワクチンを接種することで、より高い肺炎予防効果が得られます。